

# かりがね karigane

No  
385



## [季刊] かりがね

発行人／社会福祉法人かりがね福祉会  
昭和 54 年 9 月 26 日 第三種郵便物認可  
3、6、9、12 月 1 日発行  
2019 年 6 月 1 日発行

## Contents

表 紙	共同生活サポートセンター
裏表紙	風の工房 作品展報告
新年度	理事長あいさつ ..... P1
	総合施設長就任あいさつ ..... P2
	共同生活サポートセンター グループホームマップ ..... P3,4
	2019 年度職務分担 ..... P5
	感謝録 編集後記 ..... P6



# 理念を「かたちに」します

社会福祉法人かりがね福祉会 理事長 小林 彰



## 理念書ができて

社会福祉法人かりがね福祉会が設立して41年目を迎えました。これまで幾度かお伝えしていますが、これからかりがね福祉会は新しい理念に基づいて、組織を一体化して歩んでいきます。

理念は壁に貼っておくだけものではありません。当たり前のことですが、事業を進めるときに、あるいは何かあったときにいつでも理念に立ち返ることが必要です。かりがね福祉会には、設立当初から「社会に開かれた施設づくり」という理念がありました。これを継承した新しい理念です。

それぞれの事業所で理念に基づいて事業計画が策定されました。理念を「かたちに」が始まっています。

## 理念浸透塾は全職員参加で

全職員の想いを集約して理念はできあがりました。この理念を全職員に浸透する必要があります。職員組織が一体化するためには、想いの共有化は不可欠です。言葉は通じないことが多く、継続して伝えていくことが重要です。その必要性を感じ「理念浸透塾」を全職員対象に開催しています。

理念浸透塾ではレポート提出があります。「役割をもつ」、「周りに喜ばれる」ということで各職員が具体的な取り組みをあげて、実際に行動しています。具体例をあげると、笑顔で接する、元気の良い挨拶をする、気づいてゴミを拾う、トイレをきれいにする、敷地内の草を取る、買い物などで駐車場を利用するときはできるだけ遠くに停める（身体の不自由な方が近くに停められるように）、利用されている方の部屋をきれいにする、利用されている方の気持ちに寄り添う、一緒に働いている職員が気持ちよく働ける環境をつくる、などです。小さなこともあるかもしれません、とても素敵な取り組みだと感じています。

## かりがね未来塾

かりがね福祉会の将来を担う人財を育成する「かりがね未来塾」も始まりました。自薦他薦で集まった13名と理事長、(株) S・Yワークスのコンサルタントの15名で構成されています。3ヵ年掛けて幹部を養成します。すでに「人財化セミナー」（講師：佐藤芳直氏）への参加や1泊2日の合宿も行いました。

合宿では、「信頼できる職員」というテーマで全員と個人で具体的なアクションプラン（行動計画）も立てました。明るい挨拶、肯定的な声かけ、10分前行動、整理整頓、理念書の唱和などが掲げられ、これも実践され始めています。

『地域の全人生に幸せを』（主文）の理念が「かたちに」なってきています。

# 2019年度がReスタートしました。



かりがね福社会総合施設長 竹井 達郎

(2019年4月1日就任いたしました)

## ○ 出会って

かりがね福社会がこの真田の地に誕生して40年が経ちました。

その中で、多くの利用されている方が、その家族が、そしてスタッフが出会いを重ねてきました。そして今年度180名の利用されている方とその家族、160名の支援スタッフの新たな出会いが始まりました。

## ○ 伝え合って

かりがね福社会では今、9つの事業所が真田の地に点在しています。

初めて利用されている方たち、初めてかりがね福社会で働くスタッフ、知りたいことも分からない。

何をどうすればいいんだろう。そんな戸惑いからゆっくりでも前に進めるために、もちろん異動で新しい事業所に移ったスタッフも戸惑いは同じ、いつもこの時期は再出発です。

40年という歴史の中での先輩からの教えも含めて、みんなで、今までのことを伝え合って、これからのかりがね福社会を考えていきます。

## ○ 支え合って、助け合って

北は横沢自治会の「風の工房」、西は入軽井沢自治会の「OIDE YOハウス」。

生活の場と日中活動の場所、それぞれの利用されている方がそれぞれの思いやライフスタイルに合わせて、ある人は曲尾自治会の「グループホーム」から大畠自治会の「アトリエFuu」へ、ある人はご自宅から仕事をするために就労支援の「OIDE YOハウスへ」。

それぞれの思いを叶えるために、相談支援事業所の「つつじ」を主軸にスタッフ皆で支え合って、助け合って支援をしています。

## ○ 認め合って、分かち合って

かりがね福社会が運営する9つの事業所はそれぞれが役割をもっています。

相談を受ける場所、生活の場所と日中活動の場所。学校からの帰りに利用できる場所。そして円滑に事業が進めるようにと縁の下の力持ちの法人事務局。それぞれの事業所がお互いの役割を認め合って分かち合うことで連携のとれたサポートをしていきます。

## ○ そして、つなぎ合って

人は誰しもひとりでは生きていけません。「自立」と言うコトバは「何でも自分で出来るようになる」ことでも、「自分の力だけで生きるようになる」ことでもありません。

むしろ自分は誰かに「支えられて」、「助けられて」、「認めてもらって」、生きるための役割を「分けてもらって」いる。そのことに気づく時が「自立」なのだと思います。

そんな思いを利用されている方とご家族、そして全てのスタッフが地域の皆さんとつなぎ合ってこれからも、この真田の地に根ざしていきたいと思っています。

そして、

みんなで、しあわせになろうよ。

ご支援、ご協力よろしくお願いします。



2019年度

## 職務分担表 (2019年4月1日現在)

## 1. 事務局

事務局長 清水 栄紀  
 スタッフ 堀内 幸広  
           三井まゆみ  
           佐々木由佳  
 ミライ工兼務 平林はるか  
 アドバイザー 塚田 弘人

小堀 成子  
 西 由美子

## 2. ライフステージかりがね

総合施設長 竹井 達郎  
 主任 坪田 理  
 サービス管理責任者 関谷 美咲  
 アドバイザー 半田 正直  
 スタッフ 大澤 清志  
           片山 智憲  
           川又 亮太  
           重田今朝道  
           牧田 勝美  
           中澤 泉  
           坂口 翔平  
           竹内絵里子  
           矢崎 可菜  
           佐藤 希  
           小林 ゆか  
           北澤 成美  
           横内結加里  
           佐藤 里歩  
 つつじ兼務 高岡恵美子  
 医療 牧田万佐子  
 食事 小林 千春  
 朝食支援 小林 治藏  
 山崎 喜代  
 寄り添い支援 若林 智子  
 洗濯・清掃 上原 淑江

武重由美子  
 飯島 直子  
 永井久美子  
 清水まゆみ

## 感謝録

皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

※敬称略させていただきます 平成31年1月1日～平成31年3月31日

## 寄贈物品

中村春彦 真田中学校 松本短期大学  
 小山てつ子 佐藤汰嘉子 保母和子 松本敬子  
 匿名希望

タオル、寝具、書道道具、牛乳パック、米、油、  
 油絵の具以上

## 2018年度運営会員ご入会者

■長野県 小林彰 塚田弘人 遠藤良和  
 三井まゆみ 西由美子 佐々木由佳 平林はるか  
 小堀成子 倉島佑介 大澤清志 横山正子  
 金沢美智子 中村史織 片山智憲 金井江里香  
 堀内幸広 松川美由樹 坂口翔平 向後泰雄  
 東山史江 鈴木桂司 篠原繁美 工藤淳  
 飯島理佳 堀内文康 垂見美雪 相馬律子  
 長竜平 太田恵里奈 菊地剛 清水真紀子  
 花岡由衣 北沢成美 牧田勝美 牧田万佐子  
 本多未郷 太田雅之 宮坂理恵 市川暢子  
 松井良伸 北澤栄 川岸由佳 佐藤希  
 上原いさ子 佐々木良太 山崎まゆみ  
 久保田哲 竹内洋一 川又亮太 坪田理  
 内堀裕也 加藤希 三井千愛 堀内翔一  
 山浦貴志 中村孔稀 北澤栄子 志賀洋子  
 一之瀬尚美 上原日東子 三井由美子  
 加藤由美子 唐沢郁哉 安藤洋子 亀山広輝  
 吉田美咲 福原なみ子 中島智衣 石坂千春  
 高寺稔 阿部春香 田中勝子 清水栄紀  
 佐藤ひとみ 本多将之 古平卓郎 櫻井亜津美  
 萩原光規 宮坂芽衣 関口誠一郎 久田桂子  
 斎藤愛実 宮森文男 宮島伶奈 山口節子  
 西澤理恵 竹井達郎 竹田淳一 市村友一

今井仁樹 金沢綾 出浦友里 三井俊哉  
 安田剛 関谷浩行 森島優典 奈良司 小林優太  
 飯川弥生 佐々木崇 坂田智里 宮下拓也  
 阿部達也 伴野慶 高寺裕也 深澤一世  
 高橋花菜子 滝沢都衣 田矢雄介 牧内麻美  
 佐藤知里 萩原恒平 杉浦あかり 和久井翔太  
 深井香織 齊藤絢美 石巻愛莉 窪田佳央里  
 佐竹明 荒井茜 矢崎可菜 水沢勇人 中澤泉  
 大池聰 堀内敬祐 吉田真矢 竹内絵里子  
 半田正直 永井久美子 沼沢成一 水野一彦  
 西沢泉 長谷川亜由美 高橋輝男 小田切玄和  
 小林裕幸 宮坂達平 加藤美奈 宮下晴佳  
 丸山貞子 早津誠 東城治美 飯島直子  
 若林智子 上原淑江 清水めぐみ 宮澤裕子  
 大坪義朗・栄子 清水俊治

## ■東京都 夜久晴子

学校法人女子学院理事長 寺嶋潔

## ■千葉県 小林茂

(平成31年1月1日～平成31年3月31日)

## 平成30年度運営会費納入金額

	会員数(名)	会費(円)
長野県	284	888.501
北海道	1	3.000
東北地方	2	20,000
関東地方	35	364.735
中部地方	5	60,000
北陸地方	5	33,000
近畿地方	5	41,000
中国地方	1	3,000
四国地方	0	0
九州地方	1	3,000
合計	339	1,416,236

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

編  
集  
後  
記

今年度、法人内各種委員会は再編成を行ない、機関誌発行に関する職務については機関誌編集委員会改め広報委員会として、担わせていただくことになりました。新たに制定されたかりがね福祉会法人理念・基本方針の1つに“幸せが拡がる地域社会の実現と発信をし、輪を広げていきます”と謳われています。各事業所における支援の実際や法人としての様々な取組を、これまで以上に広く、魅力的

に発信していくことが期待されると強く認識しています。“広報”と銘打つと「広く知れ渡る」という意味であり、インターネット・SNSの活用等、時代に即した発信手段の検討も必要かもしれません。まずは原点に立ち戻り、ご縁をいただき目の前に居るおひとりおひとりと丁寧に・継続して関係性を築いていくこそが大切であると心に刻みながら、広報委員として充実した1年にしていきたいと考えています。 (堀内敬祐)

# たけし半端ないっ展

2019年  
3月6日～3月18日  
上田市の  
Books&Cafe NABO  
VALUE BOOKS Lab にて  
**たけし半端ないっ展**  
と題し、中村豪さんの個展を  
開催させて頂きました。

気は優しくて  
力持ち  
そして すこしだけ  
はにかみ屋。

そんな たけしさんの  
人となり が 詰まつた  
ステキな作品展になりました♪



風の工房 ●お問い合わせは

〒386-2201 長野県上田市真田町長2464-1 ☎0268-72-2151 または『風の工房』で検索！

社会福祉法人 かりがね福祉会

URL <http://www.karigane.or.jp/>

■法人本部／ライフステージかりがね

〒386-2201 長野県上田市真田町長 6430-1 TEL.0268-72-3431 FAX.0268-72-4406

■在宅支援センターえ～る 〒386-2201 長野県上田市真田町長 6430-1 TEL/FAX.0268-72-8022

■つづじ 〒386-2201 長野県上田市真田町長 7166-8 TEL.0268-75-5431 FAX.0268-75-5434

■ミライエ 〒386-2201 長野県上田市真田町長 7166-8 TEL/FAX.0268-71-7810

■共同生活サポートセンター 〒386-2202 長野県上田市真田町本原 531-1 (よつばのいえ内) TEL/FAX.0268-72-2434

■風の工房 〒386-2201 長野県上田市真田町長 2464-1 TEL/FAX.0268-72-2151

■OIDEYO ハウス 〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 8551-2 TEL/FAX.0268-73-0005

■OIDEYO ハウス(分場) 〒386-2202 長野県上田市真田町本原 1491 TEL/FAX.0268-72-5067

■アトリエ Fuu 〒386-2202 長野県上田市真田町本原 531-2 TEL/FAX.0268-72-1061

会員・読者の皆様からのご意見・ご感想お待ちしています。「広報委員会」までお寄せ下さい。